

edion Corporation

第7期 中間事業報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日



株式会社 エディオン

(証券コード: 2730)





トップメッセージ

エディオングループは、家電流通におけるトップブランドとなるべく、また新たな一歩を踏み出しました。



当社は、2002年3月に中国四国九州地方を地盤とする(株)デオデオと中部地方を地盤とする(株)エィデンの持株会社として誕生しました。その後、2005年4月には株式交換により近畿地方を地盤とする(株)ミドリ電化がグループに加わったことで、西日本地域におけるトップシェアグループとなりました。昨年7月には東京秋葉原地区を中心として関東地方に店舗ネットワークを持つ石丸電気(株)が新たにグループに加わり、また本年6月には北陸地方を地盤とする(株)サンキュー(ストアブランド:100満ボルト)が加わりました。10月には関東地方における戦略を担う新規事業会社(株)東京エィオン(ストアブランド:エィオン)を設立しており、エィオングループは6つのストアブランドで全国に展開する家電流通ネットワークとして、また新たな一歩を踏み出しました。

エィオングループは「買って安心、ずっと満足」の経営理念のもと、各事業会社がサービス重視・地域密着の営業活動を展開しています。各社との統合も最終段階を迎えており、家電流通におけるトップブランドとなるべく、今後は各事業会社がこれまで培ってきたノウハウとネットワークを積極的に活用し、お客様に近い商品・サービスのさらなる開発に取り組むとともに、より効率的でスピーディーな事業展開を図ってまいります。

2007年12月 代表取締役社長

久保 光寿

営業概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、好調な企業業績と雇用環境の改善といったプラス要因により、前連結会計年度に引き続き堅調に推移しましたが、定率減税の撤廃、年金問題に端を発した社会不安、米国の住宅ローン問題に端を発した株安、原油高に端を発した物価上昇などのマイナス要因により先行きの不透明感が広がり、景気に減速感が出てまいりました。

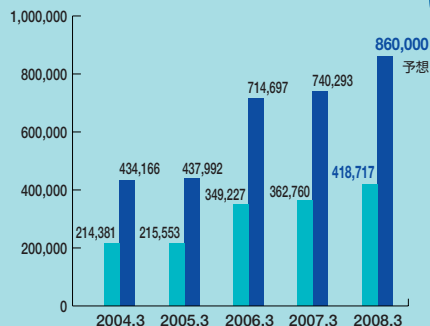
当家電小売業界におきましては、地上波デジタル放送の放送地域拡大により大画面薄型テレビなど「デジタル家電」が好調に維持しました。エアコン等の「季節関連商品」については、7月までは天候不順等により低調に推移しましたが、猛暑となった8月以降は好調に転じ、結果として当中間連結会計期間においてはほぼ前年並みの水準となりました。一方、前年より不振の続くパソコンなどの「情報関連商品」は単価の下落により伸び悩むこととなりました。また、総じて低調であった個人消費と競合各社の出店による競争の激化により、業界全体としては厳しい市場環境の中で推移しました。

こうした中で当企業グループは、4月に東京営業本部を設置し、石丸電気(株)を含めた関東地区店舗の基盤強化を進めたほか、下期よりスタートする首都圏での本格出店に向けた準備を進めてまいりました。また、(株)ミドリ電化との事業統合においては、8月に商品本部・マーケティング本部を一本化し、商品政策・販促政策を統一するなど組織統合を進め、グループとして統一的な政策を実施する環境を整えてまいりました。一方で、6月に北陸地方を地盤とする(株)サンキューの株式の40%を取得したことで、新たに北陸・北海道地方に店舗ネットワークが広がりました。営業活動においては、6月にエディオングループのスケールメリットを活かし、(株)デオデオ、(株)エイデン、(株)ミドリ電化、石丸電気(株)、(株)サンキュー合同での初の統一販促「エディオン祭」を開催いたしました。

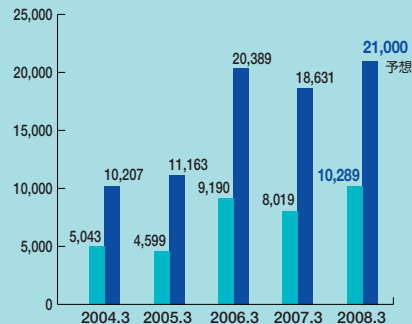
以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は4,187億17百万円(前年同期比115.4%)、営業利益は39億29百万円(前年同期比186.2%)、経常利益は102億89百万円(前年同期比128.3%)、中間純利益は42億89百万円(前年同期比114.9%)となりました。

今後も当企業グループは、「買って安心、ずっと満足」の経営理念のもと、お客様満足を追求し続け、大型家電量販店のトップブランドを目指してまいります。

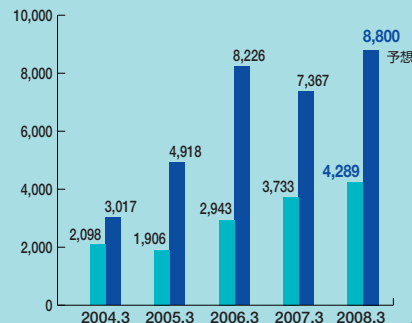
● 売上高 (単位:百万円)



● 経常利益 (単位:百万円)



● 当期純利益 (単位:百万円)



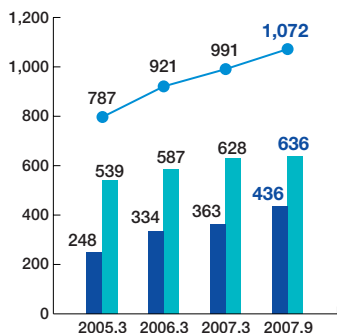
出店概況

新規出店

家具や玩具を展開する大型複合店舗など新しい店舗が続々オープンしています。

2008年3月中間期においては、5月に家具や玩具を展開する大型複合店舗「ミドリ垂水店」をオープンしたほか、4月に「エイデン羽島インター店」、6月に「デオデオ高松春日店」など家電直営店9店舗をオープンしました。そのほか、5店舗を増床しましたが、6店舗を閉鎖しました。家電以外の直営店につきましては、6店舗をオープンし、1店舗を閉鎖しました。また、6月の(株)サンキューの株式取得により65店舗が増加しました。以上の結果、2007年9月末の直営店(RC)は73店舗増加して436店舗となり、売場面積は1,042,561m²となりました。そのほか、フランチャイズ店(FC)が8店舗増加し、636店舗になりました。エディオングループ合計では、2007年9月末で直営店とフランチャイズ店を合わせて1,072店舗となりました。

● 店舗数推移 (単位:店舗) ■:直営 ■:FC ●:合計店舗数



● 新規出店店舗 (家電直営店)

オープン	店名	所在地
4月	エイデン羽島インター店	岐阜県羽島市
5月	エイデン東海店	愛知県東海市
5月	ミドリ垂水店	兵庫県神戸市
6月	デオデオ北宇和島店	愛媛県宇和島市
6月	デオデオ高松春日店	香川県高松市
6月	エイデン塩尻店	長野県塩尻市
6月	ミドリロックシティ守谷店	茨城県守谷市
7月	デオデオ筑紫野店	福岡県筑紫野市
9月	デオデオ美作店	岡山県美作市

● エディオングループ新規出店店舗



事業統合

サンキューの グループ加入

新たにサンキューが エディオングループに加わりました。

本年6月に株式を取得した(株)サンキューは、「100満ポルト」のストアブランドで北陸を地盤に北海道から九州まで広範囲に店舗を展開する企業です。(株)サンキューのグループ加入により、エディオングループは北海道から沖縄まで全国に広がる店舗ネットワークとなりました。

エディオン ビジネスモデル

統合効果の創出のため 業務の効率化とノウハウの共有を 進めています。

(株)ミドリ電化との事業統合につきましては、本年4月に仕入統合をスタートし、8月には商品本部を統合しました。また、4月に情報システム部、6月に財務経理部をそれぞれ統合したほか、4月に近畿店舗開発部を設置し、店舗開発部門の統合を行いました。10月にはエンターテインメント事業部及び家具インテリア事業部を統合したことにより(株)ミドリ電化との組織統合が完了し、今後はエディオングループとして、より一体的な運営を行ってまいります。

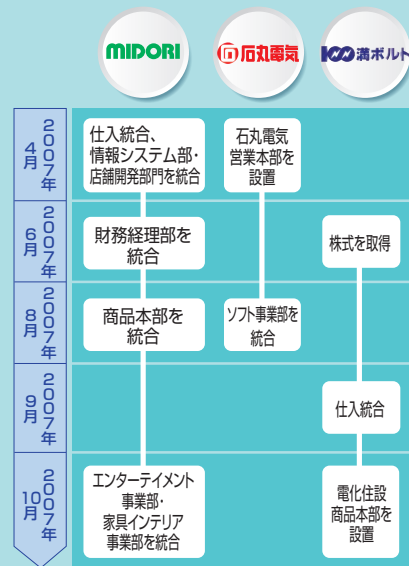
石丸電気(株)との事業統合につきましては、昨年10月に家電の仕入統合を実施しておりましたが、本年4月に東京営業本部の配下に石丸電気営業本部を設置したほか、石丸電気(株)のもつCD/DVD販売などのソフト事業におけるノウハウ導入のため、8月にソフト事業部を統合いたしました。また、6月に株式を取得した(株)サンキューとの事業統合につきましては、9月に仕入統合を行ったほか、(株)サンキューのオール電化のノウハウを導入するため、10月に電化住設商品本部を設置するなど、営業ノウハウの共有化を進めており、今後も統合効果の創出に向けて、さらなる業務の効率化とノウハウの共有を進めてまいります。

また、当中間期におきまして、(株)デオデオ、(株)エイデン、(株)ミドリ電化、石丸電気(株)及び(株)サンキューの5社で、エディオンブランドを前面に出した初の共通販促として、「エディオン祭」を開催しました。今後も、お客様に喜んで頂けるような共通販促を積極的に展開してまいります。

● (株)サンキューの店舗



● 事業統合の状況



● エディオン祭



経営戦略

●オリジナル商品ブランド

オリジナル商品

お客様にご満足いただけるよう、魅力的で利便性の高いオリジナル商品の開発に取り組んでいます。

店頭へ他社と同一商品の並ぶことの多い家電販売業界において、当社はお客様の声を取り入れたオリジナル商品の開発・販売に積極的に取り組んでいます。メーカーのプロパー製品に独自の機能をプラスした「KuaL(クオル)」は、「こんなのであったらいいな」というお客様の声を取り入れ、エアコンや洗濯機、クリーナー、炊飯ジャーといった生活家電商品を中心に数多く展開しています。また、自分好みの色でコーディネートできるひとり暮らし用のオリジナル家電「keyword(キーワード)」や、環境に配慮したパッケージを使用したデバイス商品「MY&OUR(マイアンドアワー)」などお客様のニーズをとらえた商品を開発しています。2007年9月現在、オリジナル商品は2,000アイテム以上にのぼり、売上構成比は23%(2006年度実績)に達しています。

今後もお客様の満足度向上を目指し、より一層魅力的で利便性の高いオリジナル商品の開発に取り組んでまいります。



複合型店舗

お客様の声にお応えし、家電を中心にした複合型店舗の展開を進めています。

「薄型テレビと一緒に、部屋にマッチするテレビラックを買いたい」「買い物に連れてきた子供におもちゃを買ってあげたい」—— そうしたお客様の声にお応えするため、2006年度以降、家具や玩具、住設といった家電以外の取り組みを強化しています。5月にオープンした「ミドリ垂水店」では、家具・インテリア、住設、玩具、ペットなどを取り扱っているほか、10月にオープンした「デオデオゆめタウン宇部店」では、香水やサプリメントの取り扱いを開始するなど、家電から広がる新しい暮らしの提案を進めています。



ゲーム・DVD



家具・インテリア



玩具



エディオンの 関東戦略を担う事業会社 (株)東京エディオンを設立。

2006年6月に設置した関東事業推進部を本年4月に東京営業本部へと改編し、関東地区店舗の基盤強化と関東本格出店に向けた体制の整備を進めてまいりました。さらに10月には、今後の関東出店における母体でありエディオンの関東戦略を担う事業子会社として(株)東京エディオンへと発展させるとともに、石丸電気(株)の株式を(株)東京エディオンに譲渡しました。11月には、エディオン関東出店第一号店となる「エディオン高井戸店」をオープンしました。今後も、関東地区における店舗開発を積極的に行ってまいります。



石丸電気秋葉原地区店舗の 再編を行いました。

石丸電気(株)は、2007年3月にエディオンの連結子会社となりましたが、これまで培ってきた東京秋葉原地区を中心とした関東地方でのブランド力は、他のエディオン事業会社にないものです。エディオングループとして関東地方でのシェア獲得のために、関東出店と並行し石丸電気のブランド力と営業力の再生にも力を注いでまいります。石丸電気(株)の営業力再生のため、当中間期において「柏店」ほか3店舗を改装し、10月には「秋葉原本店」ほか秋葉原地区店舗の改装・再編を行いました。

11月には株式譲渡により(株)東京エディオンの子会社となり、今後は(株)東京エディオンと一体となった運営により、エディオンの関東戦略の一翼を担ってまいります。



秋葉原本店



パソコン館



生活家電館



モバイル館

中間連結財務諸表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第7期中間期 (2007.9.30現在)	第6期中間期 (2006.9.30現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	31,745	8,471
受取手形及び売掛金	30,300	26,668
たな卸資産	99,640	84,307
その他	18,878	13,650
貸倒引当金	△201	△131
流動資産合計	180,363	132,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	76,104	72,857
器具及び備品	6,351	4,873
土地	69,619	58,206
その他	3,806	3,352
有形固定資産合計	155,881	139,290
無形固定資産		
のれん	5,021	3,437
その他	8,002	5,803
無形固定資産合計	13,023	9,240
投資その他の資産		
差入保証金	36,475	31,098
その他	31,499	18,018
貸倒引当金	△534	△495
投資その他の資産合計	67,440	48,621
固定資産合計	236,345	197,151
繰延資産	32	48
資産合計	416,740	330,166

科目	第7期中間期 (2007.9.30現在)	第6期中間期 (2006.9.30現在)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,543	52,060
短期借入金	42,895	28,019
一年内返済予定の長期借入金	12,455	14,035
一年内償還予定の社債	240	740
未払法人税等	5,194	3,874
賞与引当金	5,150	4,239
ポイント引当金	10,647	6,310
その他	22,663	20,950
流動負債合計	151,790	130,230
固定負債		
社債	711	420
長期借入金	59,242	47,650
再評価に係る繰延税金負債	2,669	2,669
退職給付引当金	9,349	7,442
役員退職慰労引当金	1,010	608
負ののれん	3,547	-
その他	12,474	9,271
固定負債合計	89,004	68,061
負債合計	240,794	198,292
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	10,174	10,174
資本剰余金	82,364	83,420
利益剰余金	58,482	52,703
自己株式	△63	△53
株主資本合計	150,957	146,243
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△642	778
土地再評価差額金	△15,284	△16,222
評価・換算差額等合計	△15,926	△15,444
少数株主持分	40,915	1,074
純資産合計	175,945	131,874
負債純資産合計	416,740	330,166

■ 中間連結株主資本等変動計算書 (2007.4.1~2007.9.30)

(単位：百万円)

科目	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
2007年3月31日残高	10,174	83,420	54,289	△58	147,825	383	△15,284	△14,900	29,251	162,176
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当		△1,056	△97		△1,153					△1,153
中間純利益			4,289		4,289					4,289
自己株式の取得				△5	△5					△5
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)						△1,025		△1,025	11,663	10,637
中間連結会計期間中の変動額合計		△1,056	4,192	△4	3,131	△1,025		△1,025	11,663	13,769
2007年9月30日残高	10,174	82,364	58,482	△63	150,957	△642	△15,284	△15,926	40,915	175,945

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第7期中間期 (2007.4.1~2007.9.30)	第6期中間期 (2006.4.1~2006.9.30)
売上高	418,717	362,760
売上原価	321,947	281,436
売上総利益	96,769	81,324
販売費及び一般管理費	92,840	79,213
営業利益	3,929	2,111
営業外収益	7,226	6,667
仕入割引	5,729	5,579
投資有価証券売却益	—	36
その他	1,496	1,051
営業外費用	866	758
支払利息	693	411
持分法による投資損失	35	168
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	137	178
経常利益	10,289	8,019
特別利益	53	164
固定資産売却益	38	151
投資有価証券売却益	7	—
その他	7	13
特別損失	1,964	1,315
固定資産売却損	25	71
固定資産除却損	703	643
投資有価証券評価損	—	19
賃貸借契約解約損	106	79
減損損失	901	460
その他	225	39
税金等調整前中間純利益	8,379	6,869
法人税、住民税及び事業税	5,092	3,820
法人税等調整額	△928	△734
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△74	50
中間純利益	4,289	3,733

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第7期中間期 (2007.4.1~2007.9.30)	第6期中間期 (2006.4.1~2006.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,379	6,869
減価償却費	5,171	4,889
減損損失	901	460
のれん償却額	330	—
貸倒引当金の増減額	90	7
賞与引当金の増減額	△175	△468
退職給付引当金の増減額	117	130
役員退職慰勞引当金の増減額	31	△23
ポイント引当金の増減額	509	589
支払利息	693	411
持分法による投資損失	35	168
固定資産除却損	703	643
売上債権の増減額	869	△5,789
たな卸資産の増減額	10,600	△4,648
仕入債務の増減額	△7,204	348
その他	△656	△1,485
小計	20,397	2,103
利息及び配当金の受取額	210	93
利息の支払額	△775	△445
法人税等の支払額	△8,066	△4,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,766	△2,330
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入れによる支出	△6,130	△150
定期預金の払戻しによる収入	1,092	150
有形固定資産の取得による支出	△12,241	△9,327
有形固定資産の売却による収入	2,474	499
無形固定資産の取得による支出	△2,104	△1,776
投資有価証券の取得による支出	△101	△3,403
連結の範囲の変更を伴う	—	—
子会社株式の取得による支出	△7,389	—
保証金差入による支出	△1,106	△973
保証金回収による収入	1,246	514
その他	587	△792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,673	△15,258
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	11,451	13,519
長期借入れによる収入	3,500	6,000
長期借入金の返済による支出	△7,013	△5,991
社債の償還による支出	△120	△120
配当金の支払額	△1,151	△1,055
その他	1,596	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,263	12,208
現金及び現金同等物の増減額	△3,643	△5,380
現金及び現金同等物の期首残高	27,590	13,771
現金及び現金同等物の中間期末残高	23,947	8,391

事業会社の状況



(株式会社デオデオ)



広島市に本店を置く(株)デオデオは、大規模直営店舗を中核として周辺に小型フランチャイズ店舗「DFS」を配置する地域密着型のエリア戦略を展開。販売からアフターサービスまで、お客様のニーズに合わせてたきめ細やかなサービスを提供しています。2007年9月末現在、店舗数は705店舗(直営124店舗、フランチャイズ581店舗)を数え、中国、四国、九州エリアにおいて、高いマーケットシェアを占めています。



(株式会社エイデン)



名古屋市に本社を置く(株)エイデンは総合家電事業「エイデン」のほか、ホームセンター事業「ホームエキスポ」、携帯電話専門店事業などを展開し、お客様の幅広いニーズに対応。お客様の満足度の向上を目指し、積極的な取り組みを進めています。2007年9月末現在、店舗数は197店舗(直営店143店舗、フランチャイズ54店舗)を数え、中部エリアにおいて、高いマーケットシェアを占めています。



(株式会社ミドリ電化)



兵庫県尼崎市に本社を置く(株)ミドリ電化は、家電、AV機器、家具・インテリアをはじめ、玩具、CD・DVDソフト、テレビゲームなど幅広い商品を展開し、お客様のライフスタイルをトータルにサポートしています。心をこめた接客からアフターサービスまで、「お客様の高い満足度」の実現に向け取り組んでいます。2007年9月末現在、店舗数は84店舗(直営店84店舗)を数え、近畿エリアで高いマーケットシェアを占めています。



(石丸電気株式会社)



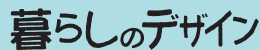
東京都千代田区に本社を置く石丸電気(株)は、1945年(昭和20年)の創業以来、「お客様満足主義」をモットーに、つねにお客様を第一に考えたサービスの提供に努めてきました。お客様一人ひとりを大切にする総合家電量販店として、時代のニーズにマッチした、質の高いサービスの提供に取り組んでいます。2007年9月末現在、東京秋葉原の本店を中心に、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・新潟県に20店舗(直営店20店舗)を展開しています。



(株式会社サンキュー)



福井市に本社を置く(株)サンキューは、北陸・北海道・山陰地方を中心に家電量販店「100満ボルト」を展開するほか、CD・DVDなどのソフト専門店「宝島王国」、修理専門店「Mr.コンセント」、携帯電話専門店など幅広い業態を展開しています。2007年9月末現在、店舗数は66店舗(直営65店舗、フランチャイズ1店舗)を数え、北陸エリアを中心に高いマーケットシェアを占めています。



(株式会社暮らしのデザイン)



東京都品川区に本社を置く(株)暮らしのデザインは、家具・インテリアの通信販売カタログ「暮らしのデザイン」を発行。シーン・性やターゲットを明確にしたカタログを、全国4万6,000店のコンビニエンスストア・書店などで販売しています。また、インターネットショッピングサイト「エディオンダイレクト」を運営し、家電1万5,000点、家具2万7,000点のアイテムを紹介。心地よい生活空間の提案を通して、お客様に満足をお届けするダイレクトマーケティング事業を進めています。

会社状況

■ 会社概況 (2007年9月30日現在)

- 会社名 株式会社エディオン
- 事業内容 家庭電化商品の販売を主として行う子会社である(株)デオデオ、(株)エイデン、(株)ミドリ電化、石丸電気(株)、(株)サンキュー、および家電・家具・インテリアの通販事業を行う(株)暮らしのデザインなどの株式を所有することにより当該子会社の経営管理をする。
- 設立日 2002年3月29日
- 資本金 101億74百万円
- 本店所在地 東京都品川区西五反田八丁目9番5号
- 本社事務所 大阪府大阪市北区堂島一丁目5番17号堂島ランドビル
- 上場取引所 東京、名古屋取引所 各市場第一部
- 正社員数 436名(単体) 10,446名(連結)

■ 株主メモ

- 決算期 毎年3月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪府大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
- ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

■ 株式の状況 (2007年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 300,000,000株
- 発行済株式総数 105,665,636株
- 株主数 18,424名

■ 取締役・監査役 (2007年9月30日現在)

- 取締役
代表取締役社長 久保 允 誉 (株式会社デオデオ取締役会長)
取締役副社長 岡 嶋 昇 一 (株式会社エイデン代表取締役社長)
(管理統括本部長 兼 店舗開発本部長)
取締役副社長 友 則 和 寿 (株式会社デオデオ代表取締役社長)
(営業統括本部長)
取締役副社長 木 谷 雅 彦 (株式会社ミドリ電化代表取締役社長)
取 締 役 梅 原 正 幸 (株式会社ミドリ電化取締役)
(物流・サービス統括推進室長)
取 締 役 藤 川 誠 (株式会社エイデン専務取締役)
(総務人事部長)
取 締 役 船 守 精 一 (株式会社デオデオ常務取締役)
(商品統括本部長)
取 締 役 外 山 晋 吾 (東京営業本部担当 兼 関東店舗開発担当)
取 締 役 村 田 博 雄 (株式会社ミドリ電化取締役)
社 外 取 締 役 宮 嶋 宏 幸 (株式会社ビックカメラ代表取締役社長)
- 監査役
常 勤 監 査 役 高 橋 圭 治 (株式会社ミドリ電化監査役)
監 査 役 石 田 勝 治
社 外 監 査 役 異 相 武 憲 (株式会社エイデン監査役)
社 外 監 査 役 沖 中 隆 志 (株式会社ミドリ電化監査役)

株主優待

当社では多くの皆様に株主となっていただきたく、「株主様ご優待制度」を設け、エディオングループでのお買い物にご利用いただける優待券を贈呈しております。

● 対象は100株以上保有の株主様

対象となる株主様は、毎年3月31日現在の(株)エディオンの株主名簿および実質株主名簿に記載された100株以上保有の株主様です。保有株数に応じて、15枚から250枚の優待券(1枚200円)を贈呈いたします。

● 優待券のご利用はエディオングループで

(株)デオデオ・(株)エイデン・(株)ミドリ電化・石丸電気(株)・(株)サンキューの各店舗(子会社・フランチャイズ店舗を含む)、およびインターネットショッピング(エディオンダイレクト<http://shop.edion.jp/>)でお買い物の際、お買い上げ金額2,000円(税込)ごとに優待券1枚をご利用いただけます。

■ 優待券発送時期/毎年6月の定時株主総会終了後に発送の予定です。 ■ ご利用期限/7月1日から翌年6月30日までの1年間です。




エディオン、私たちは

まじめでんき 

です。



激安!値引き!だけが、電器店の価値でしょうか?
もちろん、「いいものを安く」は、
私たちにとって、しごく当たり前。
けれど、それだけでお客様を
満足させることはできない、と考えます。
電気製品が「新品」であるのは、買ったその一瞬だけ。
そのあと何年かの幸せのために、
何をすべきなのかをしっかりと考えていくのが、
エディオングループのやりかたです。
単なる「デンキやさん」ではない、
あなたにとっての「幸せやさん」になるために。
お客様の望むことを、誰よりもまじめに考えて、
お客様のこうだったらを、
どこまでもまじめに実現する。
エディオン、私たちはまじめでんき  です。

edion Corporation



MIDORI



暮らしのデザイン

株式会社 エディオン

■本社
〒530-0003

大阪府大阪市北区堂島一丁目5番17号堂島グランドビル
TEL: 06-6440-8711 (代) FAX: 06-6440-8740

<http://www.edion.co.jp>



1人 1日 1kg

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減



エコ製品を選んで買おう

チーム・マイナス6%

エディオングループは、環境問題に積極的に取り組みます。